

長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

2025年第5週 2025年1月27日（月）～2025年2月2日（日）2025年2月6日作成

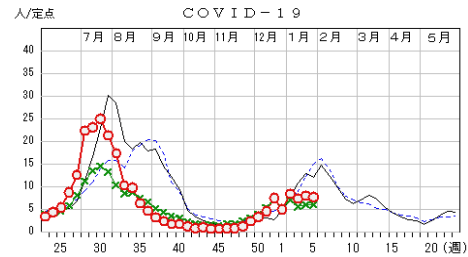
☆定点※報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患）の発生状況

（1）新型コロナウイルス感染症

第5週の報告数は540人で、前週より19人少なく、定点当たりの報告数は7.71であった。

年齢別では、80歳以上（65人）、10～14歳（60人）、40～49歳（56人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、上五島保健所（33.33）、対馬保健所（12.00）、県南保健所（10.00）であった。

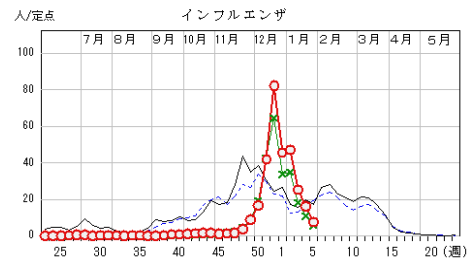


（2）インフルエンザ

第5週の報告数は526人で、前週より604人少なく、定点当たりの報告数は7.51であった。

年齢別では、10～14歳（155人）、8歳（34人）、9歳（31人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県北保健所（15.25）、対馬保健所（11.00）、長崎市保健所（10.53）であった。

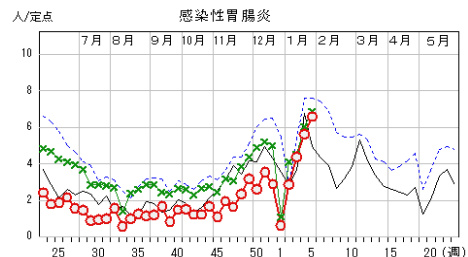


（3）感染性胃腸炎

第5週の報告数は290人で、前週より43人多く、定点当たりの報告数は6.59であった。

年齢別では、1歳（59人）、2歳（38人）、6歳（29人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、佐世保市保健所（11.50）、西彼保健所（9.50）、県央保健所（8.14）であった。



○ 当年（長崎県） ー 前年（長崎県）
× 当年（全国） ー 前年（全国）

※インフルエンザ/COVID-19定点数：70、小児科定点数：44、眼科定点数：8、基幹定点数：12

☆上位3疾患の概要

【新型コロナウイルス感染症】

第5週の報告数は540人で、前週より19人少なく、定点当たり報告数は7.71でした。地区別にみると、上五島地区（33.33）、対馬地区（12.00）、県南地区（10.00）は他の地区より多くなっています。年代別では、10歳未満（21%）、10代（18%）、80歳以上（12%）の順に多くなっています。今後も動向に注意しましょう。

本疾患の主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状で、主に飛沫感染や接触感染により感染します。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

【インフルエンザ】

第5週は526人の報告があり、定点当たり報告数は7.51でした。3週続けて減少し、県全体では警報終息基準値「10」を下回りました。地区別にみると、県北地区（15.25）、対馬地区（11.00）、長崎地区（10.53）は、前週より減少しているものの、警報レベルの報告数が継続しています。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする気道感染症です。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、飛沫等に含まれるウイルスが付着した手指で自分の眼や口、鼻を触ることによる接触感染があります。1日から3日間の潜伏期間のあとに38度以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状が突然現れます。これに続いて咳、鼻汁などの上気道炎症が起こり、約1週間で軽快するのが典型的な症状です。

今後も手洗い・手指消毒、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策を励行し、予防に努めましょう。

【感染性胃腸炎】

第5週の報告数は290人で、前週より43人多く、定点当たり報告数は6.59でした。地区別にみると、佐世保地区（11.50）、西彼地区（9.50）、県央地区（8.14）は他の地区より多くなっています。4週続けて患者数が増加していますので、今後も動向に注意しましょう。

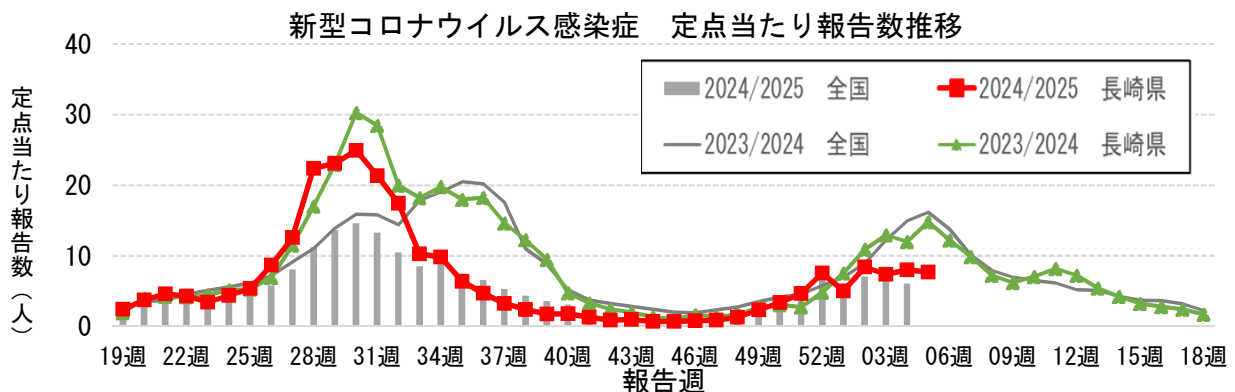
本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診しましょう。

☆トピックス：新型コロナウイルス感染症に注意しましょう

新型コロナウイルス感染症の長崎県における第5週の定点当たり報告数は「7.71」でした。

年代別にみると、10歳未満（21%）、10代（18%）、80歳以上（12%）が多くなっています。

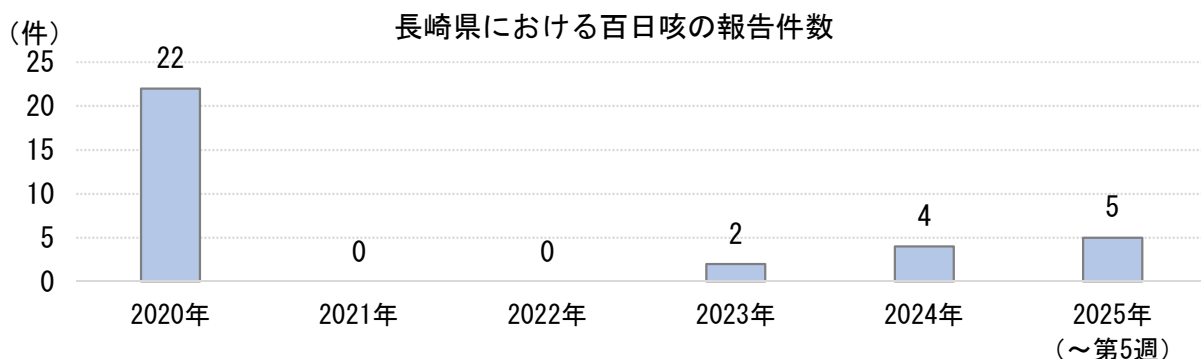
前年は12月から2月にかけて報告数の増加がみられましたので、引き続き注意が必要です。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。



☆トピックス：百日咳の報告が多くなっています

百日咳は、主に百日咳菌の感染によっておこるけいれん性の咳発作を特徴とする気道感染症です。潜伏期は通常5～10日で、かぜ様症状で始まり、次第に咳の回数が増え程度も激しくなります。夜間の咳発作が多いことも特徴で、回復までに2～3か月かかることもあります。また、乳児では、肺炎、脳症を合併し、重症化することもあります。

ワクチンの定期接種により発生数は激減していますが、2025年は第5週までに5件の報告があり、過去3年と比較して多くなっています。感染経路は飛沫感染ですので、咳エチケット、手洗い、手指消毒で予防に努めましょう。



☆トピックス：インフルエンザの流行警報が解除されました

インフルエンザの2025年第5週の定点当たりの報告数は「7.51」で、3週続けて減少しました。県全体では、警報レベル終息基準値「10」を下回り、2024年第51週から継続していた流行警報が解除されました。

地区別では、県北地区（15.25）、対馬地区（11.00）、長崎地区（10.53）は、前週より減少しているものの、警報レベルの報告数が継続しています。

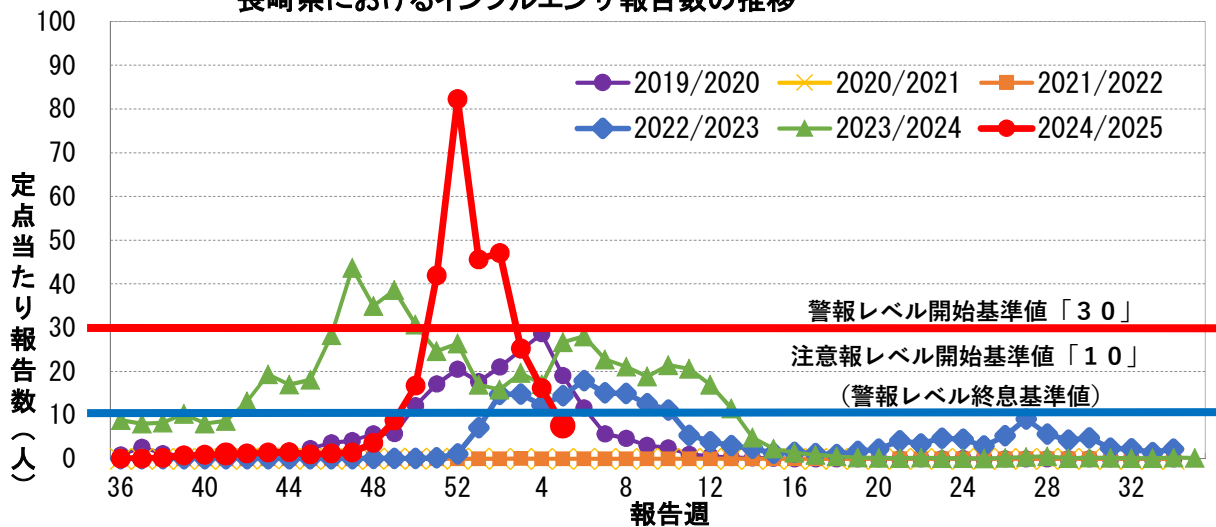
年代別では、10歳未満（44%）、10代（33%）が多くなっています。

また、長崎県環境保健研究センターにおいて、2024/2025シーズンに搬入された検体から、インフルエンザA/H1pdm09の遺伝子が多く検出されています。

今後も手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め、感染予防を心がけましょう。

発生状況について、長崎県感染症情報センターホームページ内「インフルエンザ」にも掲載しています。

長崎県におけるインフルエンザ報告数の推移



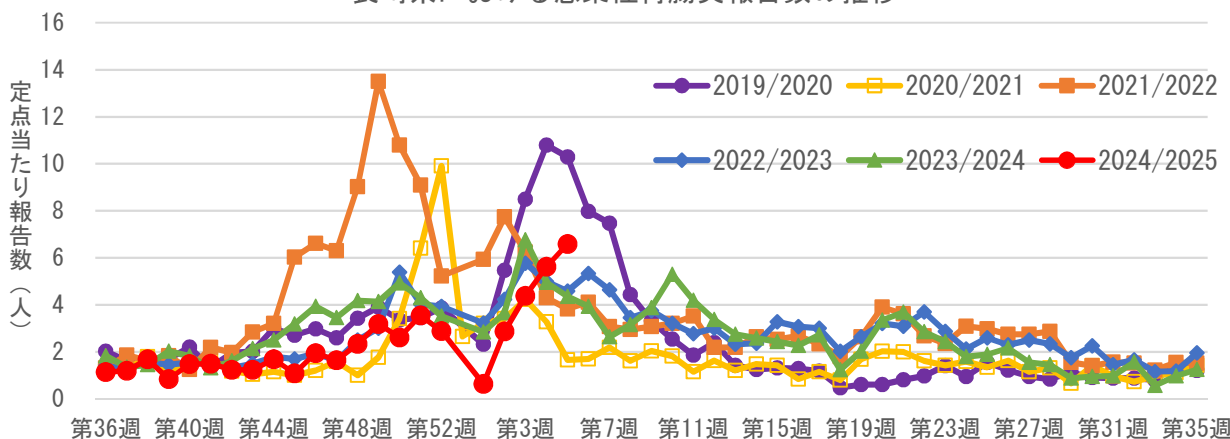
☆トピックス：感染性胃腸炎を予防しましょう

本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。

例年冬期に患者数が増加するのがノロウイルスによる胃腸炎です。ノロウイルスの潜伏期間は1～2日で症状の持続期間は数時間～数日です。症状は他の胃腸炎ウイルスと同様に嘔気、嘔吐、下痢が主で、腹痛や発熱を認める場合もあります。乳幼児から成人に至るあらゆる年齢に感染します。また、ノロウイルスは食中毒の原因としても検出されるウイルスです。

予防には手洗いが重要です。手洗いを励行し、体調管理を行い、積極的な感染防止に努めましょう。

長崎県における感染性胃腸炎報告数の推移



◆全数届出の感染症

2類感染症：結核 無症状病原体保有者 女性（50代・1名）

3類感染症：報告なし

4類感染症：報告なし

5類感染症(全数把握対象)：梅毒 患者 男性（40代・1名）

百日咳 患者 男性（10代・2名） 女性（10代・1名）

◆定点把握の対象となる5類感染症

(1) 疾病別・週別発生状況

(第52～5週、12/23～2/2)

疾 患 名	定 点 当 た り 患 者 数					
	52週	1週	2週	3週	4週	5週
	12/23～	12/30～	1/6～	1/13～	1/20～	1/27～
インフルエンザ	82.27	45.60	47.06	25.27	16.14	7.51
新型コロナウイルス感染症	7.56	5.01	8.41	7.36	7.99	7.71
RSウイルス感染症	0.09	0.05	0.23	0.11	0.18	0.36
咽頭結膜熱	0.30	0.07	0.34	0.20	0.25	0.32
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	3.43	1.27	2.48	2.57	2.57	3.66
感染性胃腸炎	2.89	0.64	2.86	4.39	5.61	6.59
水痘	0.34	0.27	0.41	0.14	0.36	0.18
手足口病	0.30	0.14	0.23	0.23	0.16	0.09
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.27	0.09	0.27	0.48	0.32	0.34
突発性発しん	0.34	0.07	0.14	0.23	0.23	0.16
ヘルパンギーナ	0.02					
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）		0.05	0.02	0.05	0.02	
急性出血性結膜炎	0.25	0.13	0.13	0.38	0.38	1.00
流行性角結膜炎	2.50	0.88	1.88	2.63	1.50	1.63
細菌性髄膜炎		0.08				
無菌性髄膜炎					0.08	
マイコプラズマ肺炎	1.17	0.50	0.75	0.83	0.50	0.50
クラミジア肺炎（おたふく病は除く）						
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.08	0.33			0.08	0.25

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況

(第5週、1/27～2/2) ※赤字：警報レベル、青字：注意報レベル

疾 患 名	定点当たり患者数（県・保健所管轄別）										
	県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
インフルエンザ	7.51	7.45	10.53	1.33	3.83	5.27	8.00	15.25	0.75	6.33	11.00
新型コロナウイルス感染症	7.71	5.73	6.00	6.33	5.00	6.82	10.00	5.75	3.00	33.33	12.00
RSウイルス感染症	0.36	0.17	0.80		0.25	0.29		1.00			0.50
咽頭結膜熱	0.32	0.17	0.60			0.43	0.20	0.67	0.33		
A群溶血性链球菌咽頭炎	3.66	2.83	1.40		2.00	2.00	14.80	5.00	5.00		2.00
感染性胃腸炎	6.59	11.50	7.50		9.50	8.14	5.80	7.33			
水痘	0.18	0.33	0.40		0.25	0.14					
手足口病	0.09	0.33						0.33		0.50	
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.34	0.50	0.90		0.50						0.50
突発性発しん	0.16	0.17	0.30			0.43					
ヘルパンギーナ											
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）											
急性出血性結膜炎	1.00						8.00				
流行性角結膜炎	1.63		0.67				11.00				
細菌性髄膜炎											
無菌性髄膜炎											
マイコプラズマ肺炎	0.50		1.67	1.00							
クラミジア肺炎（おたふく病は除く）											
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.25					3.00					